

7月15日：リスク選考のムードが高まり、VN 指数は反発

ホーチミン市場のVN 指数は前日と午前中の取引で下げた分をほぼ取り戻し、1.09% (14.01 ポイント) 高の1,293.92 ポイントで取引を終えた。

前日に1.34%下落した同指数は、午前の取引で0.06%下げている。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、287銘柄が上昇、82銘柄が下落した。

しかし出来高は前日比で減少した。売買高は4億3,990万株で、売買代金は15兆1,000億ドン (12億2,000万米ドル) 超だった。

投資家がリスク回帰したことで、銀行、素材セクターを中心に大型株が買われ、VN 指数は回復した。

VN30 指数は1.42%高の1,430.29 ポイントだった。

同指数組入銘柄のうち、20銘柄が上昇、8銘柄が下落、2銘柄が変わらずだった。

素材セクターはマーケットの上昇を牽引した。値上がり寄与度トップは、3.33%高のホアファットグループだった。VP バンク (VPB)、ヴィエティンバンク (CTG)、ベトナムゴム工業グループ (GVR) はそれに続いた。これら銘柄は全て2%を超える上昇となった。

他にもテクコムバンク (TCB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、シーバンク (SSB) が大きく買われた。

だが、ビンググループ (VIC)、ベカメックス IDC (BCM) といった不動産セクターの一部の銘柄が売られ、マーケット上昇の重しとなった。

「7月12日にVN 指数が1,300ポイントの心理的節目で底値買いを入れた投資家は、今後マーケットの動きを観察し続けるのが良い。もし下値支持線である1,260ポイント付近まで指数が下がるなら、自身のポートフォリオでの株式の投資比率を高めてもいいかもしれない」 (サイゴンハノイ証券 (SHS) のアナリスト)

ハノイ市場の HNX 指数は 3.19% 高と力強く上昇し、306.3 ポイントで引けた。

売買高は 1 億 1,826 万株以上で、売買代金 2 兆 7,000 億ドンだった。

もう一方で、外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて 7 億 2,645 万ドンを買い越した。

そのうち 7,281 億 1,000 万ドンが買い越され、16 億 1,000 万ドンが売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。